

(令和3年度 学校評価)

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立今治西高等学校

学校番号(14)

評 価 実 施 日		令和 4年 3月 (書面開催)	
委員	氏 名	所 属 等	備 考
	松浦 昭始	元県立高等学校教頭	
	村上 篤夫	企業経営者	
	野間 逸人	税理士	
	小山田 憲正	寺住職	
	吉武 美由紀	病院事務長	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導について 一人一台のパソコンの配布が、他国に比べるとかなり遅いとは思われるが良かった。ICT機器の活用により、より満足度の高い授業が実現するものと期待している。(全) 国公立大学の総合型選抜・学校推薦型選抜と入試制度も大きく様変わりしているが、大いに利用すべきと考える。(全) 大学との連携事業はとても素晴らしいことだ。生徒にとって大学の雰囲気を経験することは、大学進学を選定にも役立つと考える。(全) 卒業を目指して意欲的に学業に取り組んでいる様子が感じられる。応援したい。(定) (2) 特別活動について 120周年記念行事の一環としての「螢雪ライブラリー」の再編と図書購入が、若者の本離れが加速している風潮にあって、朝読書をより定着させ読書活動を推進する一助になるものと大いに期待している。(全) 延期されていた大阪への修学旅行が実施されたことは良かった。良い思い出になったものと思われる。(定) 部活動について、加入率が高いのは良いことである。コロナ禍で十分に活動が行えないため、大変なストレスを抱えているものと思われる。より一層のメンタルサポートへの注力をお願いしたい。 (3) 学校生活について 事故が一学期、一年生に集中して発生しているのであれば、入学当初に事故が多発している時間帯・場所など具体的な情報を生徒に知らせ、通学時の注意喚起をする必要があると思われる。(全) 学校評価アンケート結果から、施設・設備の整備について、修理・補修等が必要なところを見つけた人が、用紙に記入し投稿できる意見箱の設置を検討してはどうかと思う。(全) 家庭との連携について「マチコミ」の導入は良いことだ。保護者との連携が強化されると良い。(定) 2 その他 (1) 校外生活について 仕事先などでの感染予防対策なども含めてサポートをお願いしたい。(定) (2) 教職員への提言 コロナ禍で世の中が大きく変わろうとしている時、世界では戦争の足音さえ聞こえている。生徒たちが夢を持って努力し、夢が実現できる平和な世界を造ることが大人の責任である。(全) 全ての教員が全生徒を見守っているところが素晴らしい。学校が生徒にとって安全で安心できる場であり、さらに学が楽しさや理解できる喜びを感じられる場となり、自身の成長が感じられる場となるよう、引き続き指導をお願いする。(定)	・3学期には、特別教室にもWi-Fiポイントが増設され、来年度から使用可能となる。各教科で効果的な活用方法について、さらに検討を重ね実践していきたい。 ・第一志望校への熱意があり、特別活動やコンテスト等で実績のある生徒には、総合型選抜や学校推薦型選抜による受験を勧めたい。 ・来年度は、探究学習の充実に向けて、松山大学、岡山理科大学、今治JA、Docomo等と連携する予定である。 ・松山東高校通信制課程を併修している生徒が3年で卒業できるように、しっかりとサポートしていきたい。 ・来年度も引き続き、全学年での朝読書を実施したい。また、120周年記念事業として図書管理システムを導入したので、新しい「螢雪ライブラリー」を含め図書館利用を推進したい。図書館の教科横断的な利用を意識しながら、読書の質・量のさらなる向上を図りたい。 ・楽しいだけでなく学びや気づきの多い旅であったようだ。新型コロナウイルス感染への憂慮など理由から辞退者が複数いたため、参加者が少なかったことが残念であったが、経験を今後の活動に生かしたい。 ・今だに先が見えない現状ではあるが、大会が行われるものとして準備を行い、活躍できるよう環境を整えたい。学校行事等においては、生徒の意見をできる限り取り入れ、安全に工夫した内容で実施できるようにしていきたい。 ・今年度は、生徒に登下校時に危険とを感じる場所について具体的に記入するアンケートを実施し、結果を基に公共機関と連携して改善につなげた。その結果を、新入生にも伝えたい。 ・施設・設備の整備については、報告しやすい環境を整える工夫を検討していきたい。 ・「マチコミ」の活用をさらに呼び掛けて、保護者との連携強化を図っていきたい。 ・自身の徹底した感染予防対策が、周囲の安全につながることを継続して伝えていきたい。 ・「生徒の学びに向かう力を引き出すアシスト」を共通キャッチフレーズとして、教職員一丸となって努力していきたい。